

国際バカロレア(IB)とは? Part1

What is International Baccalaureate?



朝日塾中等教育学校は、国際バカロレアMYP(中等教育プログラム)・DP(ディプロマ・プログラム)候補校(※)です。

本校は、IBワールドスクール(IB認定校)としての認定に向けた申請段階にあります。

IBワールドスクールは、「質の高い、チャレンジに満ちた国際教育に信念をもって取り組む」という理念を共有する学校です。

朝日塾中等教育学校は、このような教育に取り組むことが、次世代の生徒にとって大切なことだと考えています。

Asahijuku Secondary School is a candidate school* for the MYP (Middle Years Programme) and DP (Diploma Programme). This school is pursuing authorization as an IB World School. IB World Schools share a common philosophy—a commitment to high-quality, challenging, international education—that we believe is important for our students. At Asahijuku Secondary School, we consider it necessary to implement this type of education for the students of the next generation.

*国際バカロレア (IB) の「初等教育プログラム (PYP)」、「中等教育プログラム (MYP)」、「ディプロマ・プログラム (DP)」を実施することができるには、国際バカロレア機構 (IBO) に認定された学校のみです。候補校であることは、IBワールドスクールとして認定されることを保証するものではありません。国際バカロレア機構及びIBのプログラムの詳細については、ウェブサイト (<http://www.ibo.org>) をご覧ください。

*Only authorized schools of the International Baccalaureate Organization (IBO) are allowed to implement the IB's "Primary Years Programme (PYP)," "Middle Years Programme (MYP)," and "Diploma Programme (DP)." Being a candidate school is not a guarantee that the school will become an authorized IB World School. If you wish to learn more about the IBO and IB programmes, please access the website (<http://www.ibo.org>).



学校法人 みつ朝日学園
朝日塾中等教育学校

国際バカロレア機関とは？

International Baccalaureate Organization

国際バカロレア機関 (IBO) は、優れた国際教育のプログラムを提供し、世界共通の大学入学資格を授与することを目的として、世界のインターナショナルスクールの教員と保護者によって1968年に設立された非営利教育団体です。(本部はスイスのジュネーブにあります。)

現在では、大学入学資格を授与するのみならず、卓越した国際教育のプログラムを提供することで、国際的な若者の育成に貢献しています。

IBOの認定を受けたIB認定校 (IBワールドスクール) は、以下の「IBの使命」に基づいた教育活動を全世界で行っています。

IBの使命

The IB Mission Statement

国際バカロレア (IB) は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探求心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。この目的のため、IBは、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。

IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考え方の人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけています。



全世界で展開されるIB教育

IBの認定を受けている学校は、2019年12月時点での世界150以上の国・地域において約5,100校あります。各プログラムを実施している学校数は以下の通りです。

プログラム	学校数
DP(Diploma Programme)	3,444校(日本国内:47校)
MYP(Middle Years Programme)	1,378校(日本国内:18校)
PYP(Primary Years Programme)	1,798校(日本国内:36校)
CP(Career-related Programme)	252校(日本国内:0校)

日本語DPとは？

IBで使用されていた言語は英語・フランス語・スペイン語の3つでしたので、日本国内のIB校では授業の全てを英語で実施しなくてはならず、IB導入が進まない1つの要因となっていました。そこで文部科学省とIBが協力し、DPの一部科目的授業・試験・評価を日本語で実施する「日本語DP」が2015年度から導入されました。

詳細はこちら

国際バカロレアの詳細については「国際バカロレア公式ウェブサイト <http://www.ibo.org>」または、「文部科学省IB教育推進コンソーシアム (<https://ibconsortium.mext.go.jp/>)」をご覧ください。



公式ウェブサイト

IB教育推進
コンソーシアム



IBの学習者像

The IB Learner Profile

「IBの学習者像」は、左の「IBの使命」を具体化したもので、「国際的な視野を持つとはどういうことか」という問い合わせに対する答えを、人物像と並んで表現したものであります。

IB認定校では、それぞれの学校が独自にこの10の学習者像を解説したポスターを作成し、校内に掲示することが求められます。

下のポスターは、本校教員が作成したオリジナルポスターです。



日本の学習指導要領との両立

学校教育法第一条で規定されている高等学校では、日本の高等学校の卒業資格を取得するためには日本の学習指導要領で定められた科目を履修しなくてはならず、DPコースに進んだ場合の負担はかなりのものでした。日本国内でのIB教育の普及を目的として、2015年8月に学校教育法施行規則の一部が改正され、DP認定校では、IBのカリキュラムと学習指導要領の双方を無理なく履修できるよう、高校卒業に必要な74単位のうち36単位を、DPの科目で読み替えできるようになりました。



IBの3つの教育プログラム

IBには初等教育プログラム (PYP)、中等教育プログラム (MYP)、ディプロマ・プログラム (DP) という3つの教育プログラムがあります。(この他にCP (Career-related Programme)というプログラムもありますが、日本ではまだ導入されていません。)

各国の教育的要件や文化的背景、子どもの成長段階に応じた優先事項等、様々なことに合ったカリキュラム編成を可能とするため、PYP・MYPでは、主にカリキュラムの「枠組み」が提供されています。一方、DPは、2年間の活動記録と高等部3年次の11月に実施される「最終試験」の結果に基づき世界共通の大学入学資格「IBディプロマ」を授与することになりますので、厳格なカリキュラムが組まれています。

DP Diploma Programme <ディプロマ>

- 対象年齢：16歳～19歳
- 高校2～3年生の2年間で6つの科目と3つの要件を履修
- 最終試験を経て所定の成績を収めると、国際的に認められる大学入学資格（国際バカロレア資格）が取得できる。原則として英語、フランス語、スペイン語で実施。

MYP Middle Years Programme <中等教育>

- 対象年齢：11歳～16歳
- 中学校から高校のカリキュラムに相当
- 履修する8科目を通じて、これまでの学習と社会のつながりを学ぶ。母国語で学ぶことが出来る。

PYP Primary Years Programme <初等教育>

- 対象年齢：3歳～12歳
- 主に小学校のカリキュラムに相当
- 精神と身体の両方を発達させることを重視したプログラム。母国語で学ぶことが出来る。

DP (Diploma Programme)

高校2年生と3年生の2年間で、下の6つの科目と3つの要件を履修します。最終試験を経て所定の成績を収めると、国際的に認められる大学入学資格（IBディプロマ）が取得できます。本校では2015年度から正式採用となった「日本語DP」を採用し、日本語と英語による指導を行っていきます。また、本校は中高一貫校であるため、高校1年生1月からDPを開始する方向で準備を進めています。下の6グループから、大学で専攻したいと考える科目や得意な科目を上級レベル (HL: Higher Level) として通常3科目（最大で4科目）選び、それ以外の3科目（あるいは2科目）を標準レベル (SL: Standard Level) として履修します。HLは、2年間で1科目/240時間以上、SLは、1科目/150時間以上の履修時間が必要となります。さらに、「IBディプロマ資格」の取得のためには、右下のコア科目の3要件も満たす必要があります。

教科一覧	科目 ([] は「日本語DP」科目)
1 言語と文学(母国語)	言語A: 文学、言語A: 言語と文学、文学とパフォーマンス(学際的科目)
2 言語習得(外国語)	言語B、言語ab initio(初級言語)
3 個人と社会	歴史、地理、経済、哲学、心理学、社会・文化人類学、情報テクノロジーとグローバル社会、世界の宗教(SLのみ)、環境システムと社会(学際的科目)
4 理科	生物、化学、物理、デザインテクノロジー、コンピューター科学、環境システムと社会(学際的科目)、スポーツ・運動・健康科学(SLのみ)
5 数学	数学: 応用と解釈、数学: 解析とアプローチ
6 芸術	美術、音楽、ダンス、フィルム、文学とパフォーマンス(学際的科目) (第6グループの代わりに第1～5グループから1科目選択することも可能)

コア科目に関する要件	
EE: 課題論文 (Extended Essay)	履修科目に関連した研究課題を生徒自らが決め、担当教師の指導の下、研究調査を行ない、その研究成果を英文4,000語(日本語8,000字)以内の学術論文にまとめる。
TOK: 知の理論 (Theory of Knowledge)	「知識の本質」について考え、「知識に関する主張」を分析し、知識の構築に関する問い合わせを求める。最低100時間の学習、TOKエッセイの提出とTOK展示の実施が必要となる。 知識を吸収するだけでなく、学術的な観点から個々の学問分野の知識体系を吟味し、批判的思考力を養うことを重視している。
CAS 創造性・活動 社会奉仕	芸術・音楽・演劇などの創造的活動、スポーツなどの活動・社会奉仕活動に従事する。2年間で合計150時間以上の活動が必要となる。

MYP (Middle Years Programme)

中学1年生から高校1年生までの4年間、8つの教科群を履修します。教科内容と社会の繋がりを認識しながら探求的に学びます。言語B(英語)以外の科目は日本語で授業を実施します。右図のように、MYPの8つの教科群を学習指導要領の各教科と対応させて教えています。8教科は、従来の教科の枠組みを越えた「相互作用のエリア」と呼ばれる下の5分野と関連しており、人間の共通性に焦点を当てています。この「相互作用のエリア」は、全教科に共通して適用され、生徒が、各教科を他の教科や実社会とは関連性のないものとして孤立的に捉えるのではなく、教科内容と実社会との関連性に対して認識を高められるよう働きかけることを目的としています。

《相互作用のエリア (AOI: areas of interaction)》

- 学習の方法
- コミュニケーション
- 人間の創造性
- 多様な環境
- 保健教育と社会性の教育

MYP教科群	学習指導要領の教科 <中等部>	学習指導要領の教科 <高等部>
言語の習得	外国語	外国語
言語と文学	国語	国語
個人と社会	社会	地理歴史・公民
理科	理科	理科
数学	数学	数学
芸術	音楽・美術	芸術
保健体育	保健体育	保健体育
デザイン	技術・家庭	情報・家庭



日本数学検定協会の講評

授業の一環として8名で取り組んでおり、万灯供養会やデザインに関する情報を集めたり、イスを使って灯籠の配置を考えたりと、試行錯誤して1つのデザインを創り上げた活動がすばらしいです。さらに、爪楊枝を使って配置のミニチュアを作って文化祭で展示しており、応募者全体の協働性を高く評価しました。

平成二十一年問題二

東大寺では、毎年「孟蘭盆」の最終日である八月十五日、大仏さまに灯火をお供えする「万灯供養会」が実施されます。万灯供養会では、4つの明かりを灯した灯籠が、大仏殿のまわりに2500基ほど並べられます。観相窓から大仏さまのお顔が見え、参道や前庭が灯明に包まれるようすはとても幻想的で、毎年多くの参拝者が訪れます。灯籠や大仏さまの見え方、準備や片付けの仕方、安全な実施などを考慮し、現実的で審美的な灯籠の配置を考えましょう。



◆調べ学習

デザインを考える前に万灯供養会について調べました。灯籠によって照らされる美しい風景に感動しました。また、前庭の大きさが白銀比になっていることに気づき、白銀比についても調べました。身近なキャラクターのキティやドラえもん、美形崩の芸能人にも白銀比があることを知り、驚きの声が上がりました。

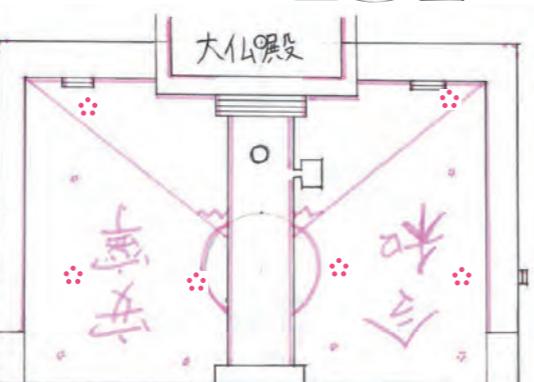
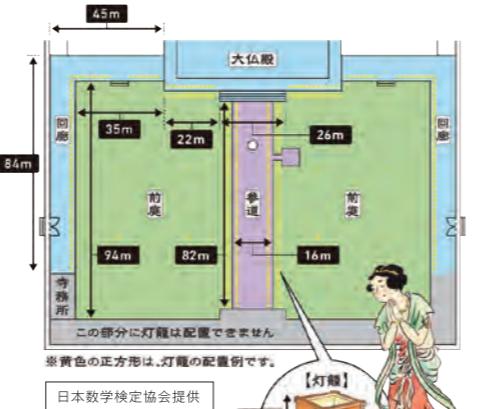
◆デザイン

全員でデザインを考えて話し合いました。新元号の「令和」、平和の意味を込めて「安寧」という文字を大仏様からきれいに見えるように上下逆に配置し、日本を表現するために「ダイヤモンド富士」と「桜の花」をデザインに加えました。

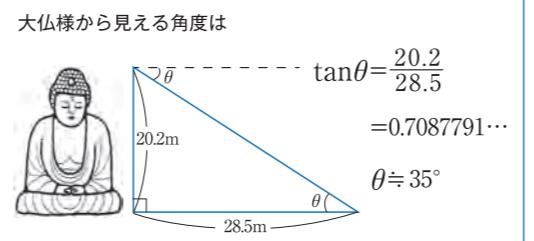
◆デザインから必要な灯籠の数を計算

考える途中で灯籠の大きさと学校のイスの大きさが似ていることに気づき、実際にイスを使って安全面という点も考慮しながら灯籠の間隔を45cmで考えました。

灯籠の数	階段	16個
富士山	416個	サイド
桜	30個	かど
太陽	824個	令
富士山の雪	46個	和
道	241個	安
大仏前	128個	寧
		136個



大仏様からの俯角も考えました。



授業担当教員のコメント

『天地明察』という映画がきっかけで“算額”的ことを知り、調べているうちにこの企画を見つけ、生徒に呼びかけて参加し始めてから今年で3年目になります。最初に必要最低限の情報しか与えなかったのですが、クラス全体でこちらが想定した以上に自由な発想で意見を出し合い、デザインをまとめ上げ、全国で2校のみに贈られる団体賞を獲得できました。これからもMYPの授業を通して生徒の発想力や考える力を伸ばしていきたいです。



学校法人 みつ朝日学園
朝日塾中等教育学校

中高6年一貫教育校
個室寮がある学校

〒709-2136

岡山市北区御津紙工 2590 TEL.086-726-0111 Fax.086-726-0400 <https://m-asahijuku.ed.jp>

0120-322-419



検索